2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	4-2-3

事務事業名	北海道用地対策連絡協議会参画事業	所属部門	環境土木課　道路整備係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☑ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☑ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

用地対策連絡協議会は公共事業の施行に必要となる用地取得に関し、起業者相互の連絡を行い、損失補償基準運用の調整及び損失補償に関する調査・研究・研修等を共同で行うため、起業者によって組織された団体である。公共事業を推進するにあたり、用地の取得、支障物件の補償等の適正化と円滑化に寄与するための情報を取得し、適切な積算を実施するため参画する事業である。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

用地対策連絡協議会では毎年、補償基準や補償に係る単価を更新しており、適正で公正な補償評価を実施するため、入会する必要があります。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円	0	0	0	0	0	0

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	4-2-3

事務事業名	駐車場法に基づく路外駐車場設置等に関する事務	所属部門	環境土木課　道路整備係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☑ 予算を伴わない事業 ☐ 政策体系に結びつかない事業	☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 ☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	☑ 法定受託事務 ☑ 成果の説明に反映しない

〔事業の概要・現状・課題〕

駐車場法の規定に基づき、都市計画区域内に路外駐車場を設置する場合、設置者はあらかじめ、その位置、規模、構造、設備その他必要な事項を芽室町長に届出なければならない。町は路外駐車場に対して、立入検査や是正に必要な措置及び供用停止を命ずることができる（平成18年度に北海道から権限移譲）。

また、路外駐車場のうち、特定路外駐車場の条件に該当する駐車場はバリアフリー法の規定に基づき、路外駐車場移動等円滑化基準に適合させることを義務付けしており、その設置について届出しなければならない。町は特定路外駐車場に対して、立入検査や是正を命ずることができる（平成20年度に北海道から権限移譲）。

町内には該当する路外駐車場の設置事例はないが、今後申請があった場合には適切に検査等を実施する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円	0	0	0	0	0	0

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	4-2-3

事務事業名	市街地道路新設改良事業	所属部門	環境土木課　道路整備係
町長公約			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
市街地における円滑な交通環境と高齢者や身体に障がいを有する方等に配慮した歩道整備など、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を図る。

2. 対象(何を対象にしているか)
市街地道路

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
道路網の整備や公共施設周辺のバリアフリー化を進めることにより、快適な住環境と誰もが安心して円滑に通行できる車道や歩道空間を確保する。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
道路交通網の充実と安全性の向上が図られ、快適な交通環境による事故防止と地域の生活環境の向上に役立つ。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	整備延長	m
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	道路延長	m
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	改良率	%
②	舗装率	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金		円						
	地方債		円	0	0	100,000,000	140,500,000	147,400,000	133,100,000
	その他(使用料等)		円						
	一般財源		円	123,795,766	115,661,793	21,771,399	15,958,000	17,064,000	15,419,000
	事業費計		円	123,795,766	115,661,793	121,771,399	156,458,000	164,464,000	148,519,000
活動指標	①	m		725	616	527	566	580	536
	②								
	③								
対象指標	①	m		104,365	104,469	104,472	104,472	104,472	104,472
	②								
	③								
成果指標	①	%		96.7	96.7	96.7	96.7	96.7	96.7
	②	%		96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5
	③								
上位成果指標	①	%		56.7	51.2	58.0	62.0	66.0	70.0
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
高度経済成長期に整備した道路の老朽化が著しく進んでいることから、整備費用が課題である。既設舗装の再整備の要望が増えている状況である。

2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)
道路整備については、破損状況など道路公園維持係と連携し、整備路線を選定する。整備にあたっては、「芽室町道路整備規準」を基に各整備路線の実態に応じた道路整備を進める。また、財政面においては、経済性を考慮した工法について検討する。

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	4-2-3

事務事業名	郊外地道路新設改良事業	所属部門	環境土木課　道路整備係
町長公約			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
郊外地における住環境の改善と町の基幹産業である農畜産業の作業効率の向上を目指し、順次整備を進める。

2. 対象(何を対象にしているか)
郊外地道路

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
道路整備により、地域住民及び一般車両や大型農業車両による農産物搬出入の円滑化と安全を確保する。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
交通体系の充実と安全性の向上、緊急時における的確な交通対応や事故防止等の地域振興に繋がる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	整備延長	m
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	郊外地道路延長	m
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	改良率	%
②	舗装率	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円	104,500,000	115,100,000	168,500,000	183,500,000	210,200,000	216,500,000
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	52,630,688	55,711,892	15,687,258	7,042,000	10,922,000	9,091,000
	事業費計	円	157,130,688	170,811,892	184,187,258	190,542,000	221,122,000	225,591,000
活動指標	①	m	1,973	2,233	2,030	1,655	1,578	1,775
	②							
	③							
対象指標	①	m	818,380	818,380	818,380	818,380	818,380	818,380
	②							
	③							
成果指標	①	%	75.7	75.7	75.7	75.7	75.7	75.7
	②	%	62.7	62.7	62.8	62.9	63.0	63.1
	③							
上位成果指標	①	%	56.7	51.2	58.0	62.0	66.0	70.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
高度経済成長期に整備した道路の老朽化が著しく進んでいることから、整備費用が課題である。また、未舗装区間沿いの住民から雨天時、融雪時の安全性及び農産物の大型輸送等による舗装化の要望が増加している。

2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)
道路整備については、破損状況など道路公園維持係と連携し、整備路線を選定する。整備にあたっては、「芽室町道路整備規準」を基に各整備路線の実態に応じた道路整備を進める。また、財政面においては、経済性を考慮した工法について検討する。

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-2-1

事務事業名	公共施設（付帯施設等）修繕等設計・積算事務	所属部門	環境土木課　道路整備係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☑ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☑ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☑ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

他課で所管する土木構造物の老朽化や破損が生じ、担当課では設計・積算が困難な場合において、施設管理担当係と協議し、設計・積算業務を実施する。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

他課からの依頼により適時対応する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円	0	0	0	0	0	0

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	4-2-3

事務事業名	橋りょう長寿命化事業	所属部門	環境土木課　道路整備係
町長公約			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
橋りょうが急速に老朽化していくことを踏まえ、法令で定める5年に1回の近接目視点検とその結果に基づいた修繕を実施することで橋りょうの長寿命化を図り、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を図る。

2. 対象(何を対象にしているか)
町道認定路線に設置された橋りょう

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
法令点検により安全性を確認し、損傷している橋りょうについては計画的に補修する。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
橋りょうの長寿命化を図ることで、道路交通網の充実と安全性の向上が図られ快適な交通環境による事故防止と地域の生活環境の向上に繋がる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	橋りょう点検数	橋
②	橋りょう修繕数	橋
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町道に設置されている橋りょう数	橋
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	点検が必要な橋りょう数(5年間のサイクル)	橋
②	修繕が必要な橋りょう数	橋
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金		円	48,000,000	45,156,000	61,383,000	105,894,000	137,574,000	11,958,000
	地方債		円	32,300,000	26,900,000	35,800,000	59,800,000	75,000,000	5,880,000
	その他(使用料等)		円						
	一般財源		円	4,540,820	3,767,038	12,260,460	18,445,000	16,944,000	3,310,000
	事業費計		円	84,840,820	75,823,038	109,443,460	184,139,000	229,518,000	21,148,000
活動指標	①		橋	77	23	60	44	62	77
	②		橋	3	1	1	2	5	3
	③								
対象指標	①		橋	266	266	266	266	266	266
	②								
	③								
成果指標	①		橋	84	61	266	222	160	83
	②		橋	37	34	29	28	23	20
	③								
上位成果指標	①		%	56.7	51.2	58.0	62.0	66.0	80
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

町道に設置されている橋りょうは266橋あり、建設後50年以上経過している橋りょうは15%程度であるが、20年後には92%まで増加する。これらの急速に増加する橋りょうを計画的・効率的に保全するため策定した「芽室町橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、補修及び定期的な点検を実施している。また、補修及び点検を実施するにあたり、多額の財源が必要になることから、「道路メンテナンス補助事業」を活用している。

2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)

橋りょうの定期点検は、2019(令和元)年度から2巡目の点検を実施しており、2023(令和5)年度に終了した。次期点検は2024（令和6）年度から2028（令和10）年度の5か年で3巡目の点検となる。

また、2巡目の点検結果に基づき、新技術の活用や集約化によるコスト削減を考慮した計画を2024（令和6）年度に策定する。財源については、「道路メンテナンス補助事業」を活用する。